

# Bohuslav Martinů(1890-1959) 演奏会・セミナー&トーク

## 20世紀を代表する作曲家、ボフスラフ・マルティヌーを知ろう!

Luděk Šabaka(pf.) Yukiko Sawa(pf.) Yasuko Ogida(trp.)

2 Pianos + Trumpet / Concert & Seminar of B. Martinů

20世紀音楽史における重要な現代作曲家、ボフスラフ・マルティヌーは1890年にチェコ共和国のモラヴィア地方の小さな町、ポリチカに生まれました。マルティヌーの活動の地は、次の4つの時代に分けられます。①初期のプラハ・ポリチカ時代～1923、②二つの大戦間のパリ時代1923～1940、③ナチスの迫害から逃れて海を渡ったアメリカ時代1941～1953、④晩年のヨーロッパの時代1953～1959。歴史に翻弄されながらも自らの作曲家としての表現を追求し、開花させて行きました。晩年は、アメリカ、ヨーロッパで当時の世界的作曲家として名を遺しました。現代音楽史上でも数々の重要な作品を多く残し、それらは近年ますます注目されています。

出演：ルデック・シャバカ(ピアノ)&沢 由紀子(ピアノ)  
&扇田 泰子(トランペット)

Program マルティヌーの作品より

- トランペットとピアノのためのソナチネ〈扇田泰子 Trp.& L.シャバカ Pf.〉

Sonatine for trumpet & Piano

- ピアノソナタ〈L.シャバカ Pf.〉Piano Sonata H.350

- 胡蝶と極楽鳥〈沢 由紀子 Pf.〉

Butterflies and Birds of Paradise ほか

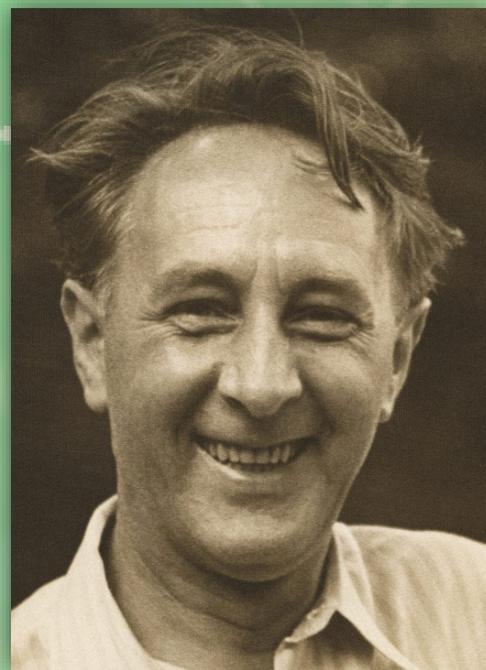
### ～ 関連セミナー&トーク ～

\*スクリーンを使い、写真などで紹介

★マルティヌーの音楽の魅力

レポート：ゾヤ・セイチコヴァー (Zoja Seyčková: IMC)

★「日本マルティヌー協会」の活動の軌跡



ボフスラフ・マルティヌー (1890-1959)

2018年7月23日(月)

19時15分開演(18時45分開場)

入場料; 一般・大学生 2,500円

高校生以下 2,000円

## 汐留ベヒシュタイン・サロン

〒105-0021 東京都港区東新橋 2-18-2

グラディート汐留 1F

大江戸線ゆりかもめ汐留8番出口より徒歩4分

JR新橋駅より徒歩8分

JR浜松町北口より徒歩8分

後援 日本ヤナーチェク友の会



### 【主催・お問い合わせ・お申し込み】

国際マルティヌー協会 日本支部

Tel; 090-9810-2934, E-mail; y\_i\_sawa@nifty.com

Tel; 080-3202-3006, E-mail; yacchu0413@gmail.com



## ルデック・シャバカ (Luděk Šabaka ピアニスト)

ブラハ音楽院教授を経て、現在ピルゼン音楽院ピアノ科主任教授。才能ある子供たちのための音楽学校の校長も務める。ブラハ音楽院、ブラハ芸術アカデミーで作曲とピアノを学び、幼少より数々のコンクールで優勝。マルティヌーのピアノ曲を全曲演奏しており、ブラハの春音楽祭、ラジオ、テレビ出演、国際室内楽フェスティバルなどに招かれて演奏。近年は毎年来日しており、日本各地で演奏会、ピアノセミナーを開催、ファンを増やしている。



## 沢 由紀子 (Yukiko Sawa ピアニスト、国際マルティヌー協会日本支部・プレジデント)

旧チェコスロヴァキア政府給費留学生として国立ブラハ芸術アカデミーに留学。チェコ音楽を中心に活動。2005年よりチェコと日本の友好コンサートとして、『りんごとさくら Jablůčko a sakura』プロジェクトを続ける。1995年より、ほぼ毎年チェコ国内で演奏している。2018年3月、チェコ国内の各地で演奏会、ピアノセミナーを行う。2018年より、国際マルティヌー協会日本支部プレジデントに就任。現在、聖徳大学講師。



## 扇田 泰子 (Yasuko Ogida トランペット奏者、国際マルティヌー協会日本支部・事務局長)

2011年ブラハ音楽院卒業、以後2014年ブラハ芸術アカデミー学士課程修了。2011年から2013年までブラハ室内フィルハーモニーのオーケストラ・アカデミーを務める。2006年、第30回チェコ全国音楽院生による管楽器コンクール第1位。2011年、第8回ブルノ国際金管コンクール第1位。チェコ、日本国内の各地で演奏活動を展開している。2018年5月、チェコのオーケストラと共演。ヤマハ認定トランペット講師。



**ボフスラフ・マルティヌー(Bohuslav Martinů 1890-1959)** は、スメタナや、ドヴォジャーク、ヤナーチェクとともにチェコの最も有名な作曲家の一人で、20世紀の重要な作曲家とみなされている。彼は生涯にあらゆるジャンルの作品を400曲以上も作曲した。交響曲、オペラ、カンタータ、オラトリオ、バレエ、室内楽曲、協奏曲、映画音楽、舞台音楽などである。彼が書いたのは、16作のオペラ、15作のバレエ、約30曲の協奏曲、そして二重奏から九重奏までほぼ100曲に及ぶ室内楽である。また、116曲ある器楽伴奏の声楽曲には、3つのメロドラマと1つのオラトリオも含まれている。オーケストラ作品には、6つの交響曲、大オーケストラや室内オーケストラのための作品が約50曲ある。マルティヌーは少しの間ブラハでヨゼフ・スークに、そして1923年から1953年まで住んだパリでアルベール・ルーセルに師事した。1941年から1953年までアメリカに住み、いくつもの音楽学校や大学で作曲を教えた。第二次大戦後、彼は何度もヨーロッパを訪れたが、1956年以降はヨーロッパに拠点を定め、フランス、イタリア、スイスに住んだ。1959年、マルティヌーはスイスのリースタルで亡くなった。

～チェコの作曲家、B・マルティヌーに興味のある皆さんへ～

国際的なマルティヌーの研究機関、国際マルティヌー協会(International Martinů Circle) への、入会のご案内  
会員にはIMCが毎年3冊発行している会報誌『マルティヌー・レビュー Martinů Revue』と『オリジナルのCD special limited edition CD』が届きます。演奏家のインタビューをはじめ、新しく発掘された資料や情報が色彩豊かな写真やイラストとともに掲載。

年会費:【電子版】:25ユーロ/3500円ほど(Paypalでの支払いが便利)【25歳までの学生特別価格】:電子版のみ10ユーロ/1300円ほど

【冊子版】:33ユーロ/4500円ほど(郵便料金は含まれていません。)

お問い合わせ: 国際マルティヌー協会 日本支部

国際マルティヌー協会 日本支部では、マルティヌーの作品の研究をはじめ、チェコの他の作曲家の作品の紹介、演奏会なども企画予定。ご興味ある方はぜひお問い合わせ下さい。

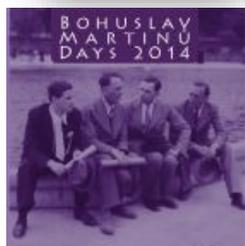
\* \* \*

国際マルティヌー協会日本支部

プレジデント 沢 由紀子; y\_i\_sawa@nifty.com

協会事務局 扇田 泰子;

yacchu0413@gmail.com, 080 3202 3006



↑ 会報「マルティヌー・レビュー」は、年間3冊発行しています。

世界各地のマルティヌーに関わる演奏会、オペラ上演、演奏家のインタビュー、などの情報が満載。英語版。

← オリジナルCDは、年間1枚発行。貴重なアーカイヴからの録音や、毎年開催されているブラハのマルティヌー音楽祭の録音などが盛り込まれています。愛好家必聴!